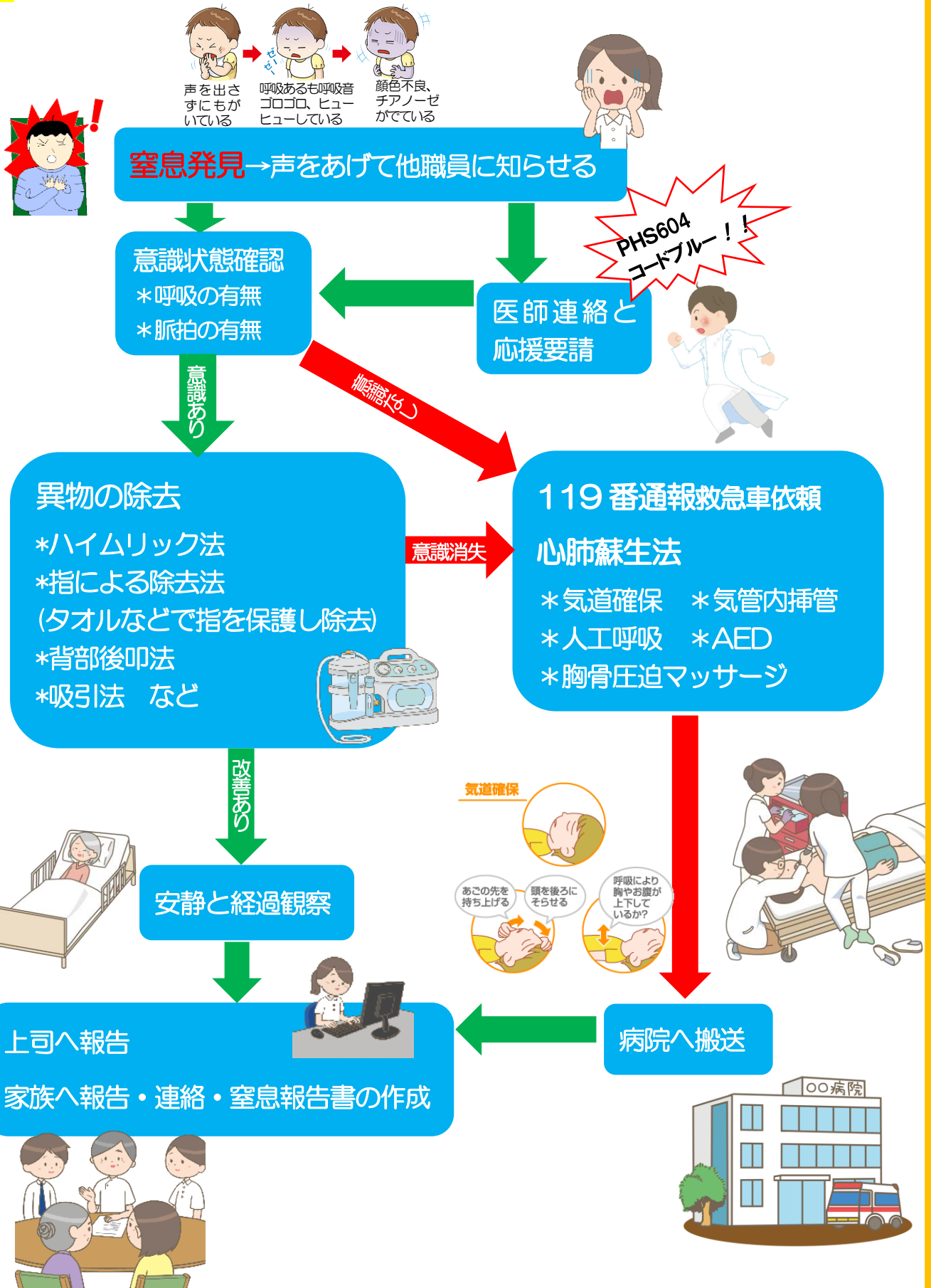


窒息発生時の対応手順



迅速な対応のためのシミュレーショントレーニング

- 顔色、チアノーゼの有無、バイタルサイン、意識状態などの観察
- 呼吸状態の観察、発生からの時間の確認
- 窒息の原因を確認
- 直ちに口腔内を空にし、タッピング、吸引
- 応援要請(早急に)
- 輸液ルートの確認
- 体位(側臥位)を整え気道を確保
- 救急カートの準備(気管内挿管の準備)
- 救急搬送の手配

常に心がけます



■ 気道異物による窒息に対する救急蘇生

- 窒息は生命の危機的状態であり、心停止に移行する可能性があります。そのため素早く処置を行い、窒息を解除することが重要です。
- 成人・小児と乳児では窒息を疑う所見や処置の方法が異なります。

	窒息を疑う所見	処置
成人・小児	<p>● 手をのどにあてる仕草 (choking sign) をすることが多い</p> <p>● 「詰まってる?」と尋ねることが重要</p>	<p>腰部 胸部</p> <p>突き上げ法 突き上げ法 背部叩打法</p> <p>● 上記の方法をすばやく何度も行う。状況に応じて複数の処置を組み合わせる。</p>
乳児	<p>● 突然の咳込みや、苦しそうな呼吸、呼吸時の異常音などが認められることが多い</p>	<p>胸部突き上げ法 背部叩打法</p> <p>● 2つの方法を交互に行う。</p>

患者さんの反応がなくなったら CPR 開始

窒息発生時の基本的な対応

窒息が発生した後、その処置が適切でないために容態が悪化するなど被害を拡大させてしまうことがあります。日頃から、窒息発生時の対応を確立し、そのために必要な医療水準を確保しておくとともに、緊急時に使用する医薬品、機材の準備・点検や緊急時の連絡体制、対応手順を以下の通り徹底します。

1. 窒息発生直後の対応

- (1) 応急処置に全力を尽くす（救急処置、医師・看護師に支援要請）
- (2) 入所者のご家族への連絡
- (3) 必要時には医療機関、高度医療機関等へ救急搬送
- (4) 正確に記録（救急処置・経過を記録、窒息に関連した物品を保全）を残す

2. 窒息発生後直ちに行う 業務管理上の対応

- (1) 発生状況の正確な把握
- (2) 対応方針を決定し、迅速に対応（対応窓口の一本化、役割分担決定、スタッフへの指示）
- (3) 必要時、関係機関・警察・顧問弁護士への連絡、マスコミ対応
- (4) 窒息発生時の当事者となった職員に対するサポート
- (5) 関係機関・保険会社等への窒息報告

3. 入所者様・ご家族には誠心誠意対応

日頃からの入所者様・ご家族との信頼関係が大切 であることは言うまでもありませんが、不幸にして窒息が起こってしまった場合、この信頼関係が受傷者の心理面に大きな影響を及ぼします。窒息発生後の病状についての不安があったり、窒息発生時について詳しく知りたいなどの入所者様・ご家族のご希望に応えられる様、施設側の適切な対応が求められます。転院後は定期的に入院先での病状把握を行い、入所者様・家族 と面談するなど誠心誠意に対応を行い信頼関係の維持、回復に努力します。

4. 施設側責任の究明

- (1) 窒息調査を行なう
- (2) 原因究明と責任の検討を行なう
- (3) 窒息レポートの作成